

老舗名	小林宝林堂 C組 6班
Q.1	なぜ日本橋で仕事を始めたんですか。
A.1	先代の社長が、日本の中心である日本橋の地で商売をしようと決めて、お店を始めたそうです。
Q.2	なぜ終戦後すぐに店を始められたんですか。
A.2	実は、終戦後の昭和20年(1945)の春にこの土地を買って、お店を開く準備にかかっていたのです。それは先代の社長が戦地から戻り、生活を始めるにあたって仕事をしてお金を稼がなくてはならないので、その為従来から修業してきた漆器のお店を開く事にしたのです。まさか20年の8月に終戦になるとは思っていなかったと思います。戦時中でも、皆生活の為に働いてお金を稼ぎ生活していたのです。
Q.3	どんな年代のお客さんが多いですか。
A.3	いろいろな年代の人達が来ますが、依頼が多いのは60才以上の年配の人達ですね。
Q.4	和家具の魅力を教えてください。
A.4	和家具の魅力は色々ありますが、当店で扱っている和家具は、江戸指物の家具と漆塗りの家具です。それぞれ職人さんが手間ひまを掛けた手作りの品です。江戸指物の場合は、材料を吟味し、その木目を生かした拭き漆という仕上げで、作りは釘を使わず「ほぞ」というものを彫り組み合わせて作ります。漆塗り家具の場合は、漆を何十回という工程で塗り重ね、丈夫で美しい仕上げに作られます。共に日本でしか作れない日本の代表的な伝統工芸です。丁寧に作られた品々は、生活に使う喜びを与えてくれると思います。
Q.5	一番売れている商品は何ですか。
A.5	商品としては箸などの小物ですが、修理品の依頼が一番多いです。
Q.6	一番値段が高い商品は何ですか。
A.6	漆塗りの筆筒(タヌ)で、一棹250万円です。
Q.7	修理が一番大変な家具はなんですか。
A.7	漆塗りの金具筆筒でしょうか。金具を外し本体と金具を塗り替え、また金具を取り付ける事ですね。
Q.8	その家具は修理にどの位時間がかかりますか。
A.8	3ヶ月位かかります。
Q.9	和家具が未来に受け継がれるための工夫はありますか。
A.9	今ある家具が修理できる事を知ってもらい、祖父母の方達が大切にしていた家具を修理して使ってもらう事。そして、日本の職人の手作りの品の良さを感じてもらい、日本の伝統文化の素晴らしさを知ってもらう事。